

ひとさまがま



ご出身は

木田 宏



最近、千葉県の
ご出身だと紹介

されることが多くなった。昭和二十五年以来
住み続けている市川市に本籍を置いているか
らである。しかし、そう紹介されると、まだ、
いささか落ち着かないところがある。

文部省入省当時には本籍が広島県にあった
ため、広島県出身者の仲間に入れて貰った。

広島県の尾道で生まれ、広島市大手町小学
校に入学し、中学校は広島高師付属を振り出
しに、四校目の福山誠之館から旧制の広島高
校に入学をした。

兵役は広島県の西部第二部隊に入り、終戦の
時は、昭南島の第三船舶輸送司令部に勤務し、
広島市の宇品にあった船舶司令部の指揮を受け
ていたのであるから、広島県人と言っても、
全く可笑しくはない。

しかし、墳墓の地は、和歌山県本宮の外れ
にある。静川という名前のごとく静かで清ら
かな山奥である。昭和十二年父が亡くなって
初めて、骨を納めに郷里の土を踏んだ。しか
し、不思議なもので、高みにある屋敷の一隅
に、何代も前からの先祖の墓が、自然石を置
いたものまで並び、そこから、緑の山肌に囲
まれた小さな村落を眺めていると、ここがや
はり出身地であると思うようになる。

数年前カナダのモンクトリオールで、多国籍
企業に務める日本人から、現地での勤務生
活の便を考えて国籍を移したという話を聞い
たが、自分の場合の本籍地と同じことだと思
った。生活の流動化が国内から世界に広がっ
ているとき、本籍や国籍の意味を考えさせら
れているところである。